

10周年

第10回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

2016年10月16日(日)午後2時～ 京都・円山音楽堂

変えよう！ 日本と世界

～ 改憲阻止！ 安倍政治を許すな！～

プログラム

司会 木村理恵さん/難波希美子さん/北村 諒さん

▼14:00

主催者挨拶 (10周年記念集会にあたって) 仲尾 宏 さん (集会実行委・代表世話人)

* 配布の「10周年記念集会のための基調提案」を参照してください。

▼14:10

講演 原発全廃へ！ 原発再稼働の動きは……

中尾哲演 さん (原子力発電に反対する福井県民会議・代表委員)

▼14:35

公演 安倍政治を許すな！ 戦争法いらん・原発あかん・基地いらん・弾圧やめろ

趙 博 さん (浪花の歌う巨人)

川口真由美 さん (おもちゃ楽団) ぷらす・歌う会 (★カンパアピール)

▼15:05

講演 全基地撤去へ！ 沖縄の闘いの今は……

北上田 毅 さん (沖縄平和市民連絡会・辺野古抗議船船長)

* 予定の山城博治さんは、高江の闘いの現場を離れられません。急ぎよ、北上田さんにお願ひ、この場を引き受けて頂きました。駆け付けて頂いた北上田さんに感謝します。同時に、連日、現場で闘う山城さんに、参加者全員の熱い思いが届くよう、この集会和デモを力いっぱい貫徹しよう。

▼15:30

特別挨拶 国会と大衆闘争を結ぶ 服部良一 さん (元衆議院議員)

▼15:40

連帯挨拶 関西から反戦・反基地闘争のうねりを

中北龍太郎 さん (戦争あかん！基地いらん！関西のつどい実行委員会)

釜ヶ崎から沖縄現地闘争へ

三浦俊一 さん (釜ヶ崎日雇労働組合)

11・6 京丹後現地闘争へ

福井滲子 さん (米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会)

▼15:55

まとめと行動提起 寺田道男 さん (集会実行委・事務局長)

▼16:00

インターナショナル (歌詞・裏面)

★会場内のゴミ分別に御協力を！★

▼16:15 デモ 出発 →四条通→河原町四条→京都市役所前 解散

袋色一白(紙類)、黒(缶・ペット類)、白(生ごみ)

10・16 第10回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

賛同人と賛同団体/賛同店

賛同人 青木 健、芦名定道、天野 博、荒井康裕、荒金洋子、五十嵐 守、池田高巖、伊藤公雄、稲村 守、井上加代子、井上郁子、今泉正臣、今泉美代子、上谷順子、上田誉志美、上野武人、上原敦男、牛尾国彦、宇城順子、内富一、江口慶明、仰木 明、岡田雅宏、岡田啓子、大井哲郎、大川傳四郎、大川なお、大須賀 護、太田 修、大野ひろ子、大濱冬樹、大湾宗則、小川成子/ 海藤壽夫、垣沼陽輔、加来洋八郎、片山昌伸、蒲牟田桂子、金澤知成、川嶋繁夫、川嶋澄夫、河村栄三、河村奈津代、河村宗治郎、川村 望、岸園正俊、北川政幸、北波紀子、木原建一、木村 修、工藤美彌子、黒石昌朗、鴻池 博、小島富紀子、児玉利春、小寺山康雄、小西弘泰、小林圭二、駒井高之、小柳伸顕、桑山義隆、小山敏夫、近藤好澄、近藤弘子/ 斉藤純子、崎山政毅、佐々木佳継、佐藤浩一、佐藤 大、嶋川まき子、城 富典、柴田朋三、柴田富士子、柴野貞夫、白井美喜子、新開純也、杉 勝利、杉澤君子、須田 稔、関 俊子/ 高木啓子、高取利喜恵、高崎庄二、高橋幸子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、竹内 宙、竹内正三、竹田雅博、田代 学、田中 徹、谷直樹、谷口ひとみ、田村文子、知花昌一、千葉宣義、千葉洋志、趙 博、塚口幸子、塚本泰史、角替 豊、寺田道男、東條文規、銅銀正美、戸梶博夫、戸田ひさよし、富田英司、土肥輝夫/ 仲尾 宏、仲宗根朝寿、永岡浩一、中沢浩二、永嶋靖久、中村在男、中森 昭、鍋島浩一、難波希美子、西 明良、西澤光代、西村広宣、沼田充廣、根津幸彦、根本 博、野口 修、野坂昭生/ 斐 梨花、朴 実、橋野高明、橋本利昭、服部良一、長谷川存古、早野陽之介、林田吉智、菱木康夫、平田義夫、福井滲子、福山義和、藤井悦子、藤井 聡、藤本孝一郎、藤原史朗、古橋雅夫、星川洋史、星野光敏、保住進、堀 義明、堀井千恵子、本間 都/ 前田裕晤、前田正明、増野 徹、松川洋裕、松川敦子、松田耕典、松田素二、松崎五郎、松下佳弘、松野尾かおる、松原康彦、松村美会子、三浦俊一、右田光子、道端園枝、蜜山純子、三橋秀子、南徹夫、南 俊二、宮崎康人、宮地洋二、宮本博志、向井 均、村上聖子、村上隆之、村上ひとみ、茂木 康、物江克男、森田光男、森田節子/ 山内義広、山下和海、山田耕作、山田 謙、山地政司、山西喜子、山本勝也、山本善偉、山本 純、山本将嗣、山本祥子、山本由美子、山本龍吉、横尾幸子、吉武仁貞、吉本政之、吉本 昇、湯浅 進、吉水律子、吉村文彦、米澤鐵志/ 脇浜義明、亘 洋子、和田茂雄、和田康彦 (敬称略)

賛同団体/賛同店 アジア共同行動・京都/ アジェンダ・プロジェクト京都/ 米軍Xバンドリーダー基地反対・京都連絡会/ 沖縄・辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動/ 怒っているぞ！障害者切り捨て！ネットワーク関西/ オリーブの会/ 海曜社/ 風をおこす女の会/ 釜ヶ崎日雇労働組合/ 釜ヶ崎連帯委員会/ かりの会/ 関西共同行動/ 関西合同労組/ 関西合同労組大阪支部/ 関大校友連絡会/ 「共生連帯」近畿 / 京都大学社会科学研究会ピース・ナビ/ 京都「天皇制を問う」講座実行委員会/ 9条改憲阻止共同行動/ ぐるーぷ ちゃんぷる/ 憲法を生かす京都の会/ コラボ玉造/ 三里塚決戦勝利関西実行委員会/ 柴野貞夫時事問題研究所/ 新社会党京都府本部/ 真宗大谷派・9条の会/ 消費者経済研究所/ 新空港反対東灘区住民の会/ STOP！TPP緊急行動・関西/ 戦争あかん！基地いらん！関西のつどい実行委員会/ 戦争をさせない左京1000人委員会/ 全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部/ 東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会/ 錦歯科診療所/ 日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会/ No Base！沖縄とつながる京都の会/ 阪神社会運動情報資料センター/ 反戦老人クラブ・京都/ 反「入管法」運動関西交流会/ 8・6ヒロシマ平和の夕べ実行委員会/ パンドラディ/ピース ムーヴメント/ 兵庫県被災者連絡会/ ふえみん婦人民主クラブ京都/ ふえみん婦人民主クラブ滋賀/ 平和憲法の会・京都/ 緑と市民とネット運動・e未来の会/ 緑の党グリーンジャパン京都府本部/元町憲法9条の会/ 労働者共闘

(2016年10月12日現在 賛同人 204人、賛同団体/賛同店 50)

*なお、上記以外に公表を控えておられる多数の賛同人がおられることを記しておきます。そして、この集会に賛同し、この年に逝去された方々の冥福を心からお祈りします。(集会実行委員会一同)

10周年記念集会のための基調提案

- (1) 10年前、われわれは、「戦後レジームからの脱却」を掲げて登場した第1次安倍内閣を打倒するために、決起を訴え、この円山音楽堂に集まった

2006年10月21日、「国際反戦デー」の記念すべき日に、反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都は出発した。この円山音楽堂に1200人以上の人びとが集まり、熱気に包まれた。

この運動を提起した時の「日本と世界」はどうであったか。第1次安倍内閣が発足し、米国との同盟の再定義、すなわち「2+2」のロードマップによって、日本が米軍とともに軍事行動をすることが確定し、防衛庁が「防衛省」に格上げされた。国内的には全国各地で大きく湧き上がった反対運動を押し切って「教育基本法」が大幅に改悪された。すなわち「戦後レジームからの脱却」を標榜した身勝手なナショナリズムの鼓吹が、大手を振って登場することを許した。

このような危機を背景に、さまざまな思いを共有する人びとを結集しようとして、この運動ははじまった。以後、毎年1回の大集会だけではなく、時のさしせまった課題に対して、現場での闘いの提起、デモや集会などの直接行動、そして、できるだけ多くの人びとに「参加可能な大衆的行動の提起」を呼びかけてきた。

沖縄連帯の活動、京丹後市の米軍Xバンドレーダー基地建設阻止運動、滋賀県あいば野の自衛隊基地での日米合同軍事演習反対闘争、山口県岩国米軍基地拡張阻止闘争、そして、3・11以降の原発再稼働阻止闘争、とりわけ若狭の大飯、高浜の原発再稼働阻止やもんじゅの廃棄を求める運動に参画してきた。

また、大きな運動の展開にはむすびついてはいなかったけれど、京都を中心とした個人参加のユニオン系の労働者の闘い、在日コリアンのさまざまな人権問題に関するとりくみ、いわゆる「ヘイトスピーチ」阻止のためのカウンター活動などにも加わってきた。そして、大阪での「しないさせない戦争協力関西ネットワーク」や「9条改憲阻止共同行動」との共闘や、関西一円の活動家で組織する「共生・連帯近畿」の活動にも積極的に参画し、「日本を変える」論議と新たな運動の形成にも参加してきた。

そして、民主党政権の失敗—沖縄・辺野古米軍新基地建設問題—老朽原発再稼働—消費税の8%に増税などの失政—のあと再び登場してきた安倍第2次政権。それ以降の政治・経済の状況は、皆さんがご承知の通り。象徴的なできごととは今春、ネットに登場した「保育所落ちた。日本死ね」という一人の女性の叫びだ。働く条件も、子育ての条件も失わせているこの日本、これがどうして安倍がいう「一億総活躍」時代なのか。どうして「アベノミクス」が成功しているといえるのか。

巨大広告会社を通じて、あらゆるマスコミを報道管制した日本の情報社会とは、この痛切な叫びに、一切耳を貸さない社会となっている。「残酷な国家」となっているのだ。また、差別意識の拡大に満ちた在特会や日本会議、石原慎太郎、橋下徹らに代表される右派勢力の公然たる登場を許してきた。

ここでもう一度、日本と世界の全体状況を俯瞰(ふかん)してみたい。

(2) グローバリズムと新自由主義が闊歩する世界経済を読み解き、 それに対抗する人民のための思想を、そして社会・経済を獲得しよう

現在の世界経済(日本を含む)は、「グローバリズム」と「新自由主義」という言葉で表されている。しかしながら、そのグローバリズムとは良い意味での国家の超克ではなく、また人権思想に裏打ちされた自由主義でもない。否、その美名のもとに資本主義の最終的行き詰まりの形相であり、それをなんとか打開、あるいは延命しようとする国際総資本のあがきとみるべきであろう。そのもとで進行する各国の政策、経済産業界のすすめている対策は、おおよそ次のような諸点に要約される。

① 第1は人間の生存、尊厳を無視しても利潤追求を貫徹し尽くす思想と政策を広めることである。

その破壊的結果が明白となったにもかかわらず、既存の核開発国家はそれを止めようとはせず、さらに国家の枠組みをこえて原発再稼働、新規開発、核の輸出に経済社会の活路を見出そうとしていることが、そのことを象徴的に表している。日本もまた、宇宙を含めた情報機器・技術の軍事的利用の推進にも加わる。あらたな新市場開発のために新幹線や将来を見越したリニア技術の開発もこれに連なる。

② 現存の「国民国家」は、そのような総資本の要求・動向に完全にひれ伏している。本来ならば、そのような荒っぽい総資本の要求に対して「国民的利害」から、一定の調整や統制をすべき国家は、もはや存在しない。調整するといえばEUのような資本連合形態、あるいはいままでの覇権に依拠する米国資本、それに割り込もうとする中国の覇権主義、そして、その中間にあって既存利益を死守しようとする日本、新たな市場支配を確立しつつあるロシアなど、アメーバ状の市場獲得競争を有利に導くために個々の国家の権能を最大限に活用するために国家は存在しているかのようである。

③ 情報社会といわれる今日にあっては、科学・技術も最大限にそのような動きを加速するために利用され尽くされる。先ほどの核開発の進行もその一端であり、情報機器の軍事利用、無人機による空爆、宇宙開発の利用など、とどまるところを知らない。

④ また逆に、経済社会は国家を利用し尽くし、国家もまた経済社会を最大限に利用する。たとえば、国債という名の無限信用の拡大がそれであり、各国中央銀行による裏打ちなき金融拡大を国家が支持し、また企業利益のみを拡大し、大衆課税を強化する税制などが、それに加わる。大企業は「ホールディング」という持ち株会社に個別企業の超過利潤を吸

い上げさせ、かならずしも実体経済を反映していない株式操作によって更なる利潤獲得に奔走する。その結果、いずれの国においても貧富の差の拡大と貧困層の驚くべき拡大が顕著である。すなわち世界的規模での富の集中と貧困層の蓄積が現実のものとなりつつある。この道に展望はない。あるものは破滅の道だけである。

⑤ 現代社会の閉塞感はそのような社会的、経済的危機を殆どの人びと、とくに若者が本能的に感じとっていることに由来する。世代論的にいえば、資本主義のおこぼれにあずかった現代の老年層もまたその閉塞状況を打開する処方せんを持ち合わせていない。だが、各国家の指導層たちはその対策を持ちあわせている。それは、徹底した人種主義をすすめることである。それはかつてナチスや大日本帝国やファシズム国家、またはスターリニズム国家がやってきたことであった。ヘイトスピーチなる現象も、そのような社会の閉塞感にのっかかった社会的・民族的マイノリティに対する脅迫行動を異常なこととしない社会の形成に参加している。相模原事件に象徴される優生思想もその一例である。マスコミの右傾化と異論の排除、右翼的教科書の採用の増加などもそのような国家権力による人種主義による本来の意味でのグローバリズムやリベラリズムの排除・圧殺である。欧米各国での右派の台頭も同じ根源からきていよう。つまり、資本主義の相対的安定期にあった社会民主主義の遺産が確実に浸食されつつあるのだ。

⑥ 議会制民主主義はどうか。日本の場合、小選挙区制を導入したときに、本来の民意の反映よりも多数党派の利害しか反映しない制度になりさがった。それを見抜いた人民は議会制度そのものに絶望し、投票行為から遠ざかった。また政党や政治家が政策決定にあたって強力な官僚層に依拠し、その政策立案、内外の政治方針の策定が出来なかったことも議会の制度疲労につながっている。だからいかなる市民運動も市民の異議申し立ても、議会による議決＝立法権限、また行政措置に逆らえなくなっている。司法の判決も一部の例外を除いて機能不全に陥っている。逆にいえば議会そのものが「人民主権」、換言すれば「立憲主義」の障害要因になりさがっているのだ。近年のウォール街や欧州諸国、アフリカや香港・台湾での街頭行動・議会占拠などの行動は、議会が権力の壁に成り下がっていることを看破した行動であった。

⑦ 第1次安倍内閣の成立、いやそれ以前の小泉内閣時の大規模な規制緩和からはじまった日本の国家権力のとってきた政策は以上のような資本の側からする、経済政策、社会政策、労働政策、教育政策の展開であった。そしていままた行き場のない「低金利政策」「原発再稼働」「武器輸出の大規模化と戦争参加」「一億総活躍」の名のもとの低賃金労働者の拡大、大企業優遇税制など、いま以上に人民の生活と権利を破壊することに暴走しようとしている。それに対抗すべき理念は何か。

**(3) 「国家」や「国民」という立場を離れて、世界のあらゆる人民と連帯し、
世代を越えた社会変革のための共同闘争に立ちあがろう**

ここでもう一度「保育所落ちた。日本死ね」というショッキングな言葉の意味することを考えてみたいと思う。ここでいう「日本」とは、日本社会のことではない。この悲痛な言葉の怒りの先はほかでもなく、現実の存在している「日本国家」である。この声は、政権を確保し、一切の外交、経済、財政、文教、労働政策をわがもの顔に牛耳っている国家とその国家に巢食っている政治家、官僚や財界、学会の主導的立場にいる連中への糾弾である。

国家というものは、いつの時代、いつの地域でも最大・最強の権力者としてたち現われてきた。いまの安倍内閣も例外ではない。小選挙区制に乗っかって議院内で多数を占めて、国家権力のあらゆる機能を駆使して私たち人民に戦争参加を容認させ、貧困を見殺しにし、さまざまな差別をはびこらせているものが「日本国家」なのだ。このような国家に真正面から立ち向かい、鋭い問題提起を現場からすることがいま必要だ。そのことは、沖縄の辺野古や高江の闘争を見れば明らかである。私たちは、この社会で生き抜く「主権をもった人民」である。けっして「国家の奴隷」ではない。

その生き抜く権利を武器に私たちはさらに行動しなければならない。前述の部分で触れたように、私たちは現場闘争、直接行動、そして大衆行動を運動の中心軸にすえて、これからもあくなき闘いをすすめていく。具体的な課題は、本集会のスローガンにふれられている。また本集会で報告されたそれぞれの闘いの中に示されている筈である。

安倍内閣一政権は今後、当然のように「日本国憲法」とそのもとの良かれ悪しかれ継続してきた体制を崩壊させ、「自民党改憲草案」の具体化と国民投票の実施を政治日程に組み入れてくる。これは戦後日本の体制を根本的に覆し、自由、人権、そして反戦の闘いを根絶やしにする社会をめざしている。このような企みを粉碎し、この日本社会と世界を根底的に私たち人民のための社会にするためには、さらに大きな、大きな社会変革のための運動が必要である。

沖縄での辺野古新基地建設や高江のヘリパット建設など米軍基地や自衛隊基地の軍事拡張、5年前の福島原発事故が無かったかのような原発再稼働の動き、そして昨年戦争法の強行採決につづく「共謀罪」新法案(テロ等準備罪)上程の動きや、今国会でのいのちより利潤を優先するTPP協定の批准強行の動きなど、課題は切迫している。また、11月には、「駆け付け警護」であり、「戦争法」の発動であるアフリカ・南スーダンへの自衛隊派兵が強行されようとしている。それに対しては10月30日に、南スーダンへの派兵を許さない青森現地集会在が準備され、全国からの闘う仲間の結集を訴えている。

私たちは確信している。沖縄の闘いをはじめ反原発闘争や戦争法廃止、9条改憲阻止の闘いは、安倍政権の暴走と対決している。これらの闘いのさらなる広がり求めて行こう。そして、私たちは、いまこそ、「国家」や「国民」という概念を離れて、世界のあらゆる人民と連帯し、世代を越えた共同行動とともに立ちあがろう。

以上。

2016年10月16日 京都・円山音楽堂にて

【高江への行き方】 = 那覇から

- ① 那覇空港（高速・路線バス）⇒ 名護バスターミナル⇒ 高江（73番川田線）
 名護バスターミナル発 5:50、14:25、17:15
 高江共同売店発 7:05、15:25、18:45（片道約1時間・1200円）
- ② 車 国道58号線（高速は「許田」IC）⇒ 県道9号線で「栗村役場・エコーパーク」を左折⇒ 県道70号線「平良T字路」を左折⇒ NIゲート前
 （平良から30分、那覇から約3時間）

伊江島

【伊江島への行き方】

・「本部港」から伊江フェリーで30分
 本部発 9:00、11:00、15:00、17:00
 伊江発 8:00、10:00、13:00、16:00
 = 夏休み・年末年始等は増便あり =
 問い合わせは、伊江村公営企業課
 0980-49-2255

嘉手納

普天間

辺野古

【辺野古ゲート前への行き方】

- ① 島ぐるみ会議「辺野古バス」 = 下欄参照
- ② 路線バス：那覇バスターミナル（ゆいレール・旭橋駅前）から77番（名護東線）で「第二辺野古」下車
- ③ 高速バス：那覇空港から111番（名護バスターミナル行）で「宜野座IC」下車、ローソン前バス停から77番・22番（名護行）で「第二辺野古」下車
- ④ 車 沖縄自動車道「宜野座IC」→ 国道329号線北上 → キャンプ・シュワブゲート前

【島ぐるみ会議・辺野古バス】

- ・那覇市（毎日運行・土日祝も）
 出発地：沖縄県庁前（県民広場）
 時間：9:30集合・10:00出発 → 17:30解散
 連絡先 098-943-9830（島ぐるみ会議事務局）
- ・宜野湾市（毎週火曜日運行）
 出発地：宜野湾市役所バス停（市民会館向かい）
 時間：9:30集合・10:00出発
 連絡先 090-3790-2310（新垣清涼 県議）
- ・うるま市（毎週木曜日運行）
 8:30与那城庁舎→9:00うるま庁舎→9:30石川庁舎駐車場
 <連絡先> 090-9788-1496（伊芸）
- ・北谷町・沖縄市（毎週土曜日運行）
 9:30 北谷町老人センター→10:00 沖縄市コザ・ミュージック
 <連絡先> 098-936-4065（北谷町民会議）
 090-2519-1535（沖縄市・照屋）
- ・名護市（毎週土曜日運行）
 9:00 名護市民会館 出発
 <連絡先> 090-1084-3734（仲村善幸 事務局長）

沖縄パンフレット作成委員会

携帯電話 090-1341-4224

- ・辺野古ゲート前テント村、海上行動
- ・高江連絡会（ヘリパッド建設に反対する現地行動連絡会）
- ・伊江島「わびあいの里」
- ・普天間ゲート前抗議行動（野嵩・大山）
- ・嘉手納ゲート前抗議行動

インターナショナル

起て飢えたる者よ 今ぞ日は近し
醒めよわが同胞(はらから) 暁は来ぬ
暴虐の鎖断つ日 旗は血に燃えて
海を隔てつわれら 腕(かいな)結びく
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
ああインターナショナル われらがもの
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
ああインターナショナル われらがもの

聞けわれらが雄たけび 天地轟きて
屍(しかばね)越ゆるわが旗 行く手を守る
圧政の壁破りて 固きわが腕(かいな)
今ぞ高く掲げん わが勝利の旗
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
ああインターナショナル われらがもの
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ
ああインターナショナル われらがもの

第10回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都 集会スローガン

- ① 戦争法廃止！ 集团的自衛権の行使を許すな！ 秘密保護法廃止！
南スーダンへの自衛隊派兵を許すな！
- ② 高浜・大飯・美浜の原発再稼働を許さず、すべての原発を廃炉に！
核燃料サイクルをやめろ！ 原発輸出をやめろ！
政府・東電は事故の全責任を取れ！
被曝労働を強制するな！ 放射能汚染から子どもたちを守れ！
- ③ 辺野古への新基地・高江でのヘリパッド建設を阻止しよう！
米軍普天間基地の即時撤去を！ オスプレイの配備撤回！
日米地位協定の抜本改正を！
- ④ 京丹後の米軍Xバンドレーダー基地の撤去を！
宮古・石垣・京丹後の自衛隊基地建設拡張を許すな！
- ⑤ 日米韓合同軍事演習反対！ 日韓へのTHAAD(サード)ミサイル配備阻止！
- ⑥ アジア民衆への加害の歴史をかくすな！
- ⑦ 格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を！
- ⑧ あらゆる差別・排外主義に反対し、人権を確立せよ！
- ⑨ 民衆の生活を破壊するTPP反対！
新自由主義グローバリゼーションを許さない！
- ⑩ 消費税廃止！ 税金は金持ちと大企業から取れ！
- ⑪ 共謀罪(テロ等準備罪)の国会上程を許すな！
- ⑫ 憲法改悪反対！ 天皇の「元首化」を許すな！
主権在民、戦争放棄、基本的人権を守ろう！

主催 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 実行委員会

代表世話人 仲尾 宏
世話人 大瀧宗則、工藤美彌子、小林圭二、新開純也、高橋幸子、
田川晴信、瀧川順朗、千葉宣義、野坂昭生、米澤鐵志 (アイウエオ順)

連絡先 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町1-15 三星ビル304号
NPO社会労働センター きずな 内

問合せ先 ☎ 090-5166-1251 (事務局長・寺田道男) FAX 075- 981- 4121

HP <http://www.kyotohansen.org>

賛同/カンパ振込先 郵便振替(番号) 00950-5-108500
加入者名 反戦・反貧困・反差別共同行動 (きょうと)